

全国のおオクチバス等防除モデル事業について

広域分布するおオクチバス等の防除のため、環境省では、全国にモデル地区を設定し、防除や各種調査を実施している。事業は、各地区の自然条件や社会条件を踏まえ、地域の実情に沿った手法を検討しつつ事業をすすめることとしている。

◆ 全国のモデル地区

(1) 伊豆沼・内沼おオクチバス防除モデル事業（東北地方環境事務所）

宮城県にあるラムサール条約登録湿地の伊豆沼・内沼で実施。天然湖沼。モデル事業前から、人工産卵床をはじめとした繁殖阻止に重点をおいた防除を実施している。

(2) 羽田沼おオクチバス等防除事業（関東地方環境事務所）

栃木県にあるミヤコタナゴ生息地保護区である羽田沼で実施。ため池。水抜きを実施したうえで、捕獲を実施している。

(3) おオクチバス等防除モデル事業・片野鴨池（中部地方環境事務所）

石川県にあるラムサール条約登録湿地の片野鴨池で実施。天然湖沼で、上流に下福田貯水池がありこちらでも防除を実施。

(4) おオクチバス等防除モデル事業・犬山市内のため池群（中部地方環境事務所）

愛知県の犬山市内の希少な生物が生息するため池群で実施。ため池。池干しによる防除を実施。

(5) 琵琶湖おオクチバス等防除モデル事業（近畿地方環境事務所）

省略

(6) おオクチバス等防除モデル事業・蘭牟田池（九州地方環境事務所）

鹿児島県にあるベッコウトンボ生息地保護区の蘭牟田池で実施。天然湖沼。刺し網等による防除を実施。

(7) (参考事業) 皇居外苑生態系管理業務（皇居外苑管理事務所）

皇居外苑の濠において実施。電気ショッカーによる外来魚の防除を実施。

